

2012年9月26日記入

氏名：レーエンラン Le Yen Lan

学校名：東京工業大学

学部・学科：工学部・国際開発工学科4年

## TNI 研修旅行のレポート

(8月23日—9月5日)

まず、佐藤正文先生をはじめ、今回のツアーを計画して下さった皆様に心からお礼をもう日上げたいと思います。そして、2週間一緒にいた先生方、先輩方、学生の皆さんにも感謝の言葉を伝えたいです。皆様のお陰で最高の夏を過ごしました。

次に今回の研修旅行について簡単な感想を述べたいと思います。

### 1. 観光：

バンコクは今回で2回目です。1回目は去年の夏でした。ですが、今度学生の皆さんが案内してくれて、楽しかったです。JJ マーケットやバンコク博物館などの普通のツアーに普段入っていないところにも行くことができました。バンコク博物館が特に好きです。ただ、展覧だけでなく、お客さんが参加できる形で、すごく面白かったです。これはベトナムに導入したら、ベトナム人がより博物館に行くではないかと思いました。しかし、バンコクもハノイのように毎日渋滞して、この問題を解決できれば、バンコクの観光も経済ももっと発展すると思います。

カンボジアは初めて行きました。アンコール・ワット遺跡群は本当に素晴らしいです。遺跡は昔のままにあり、感動しました。ですが、今のように観光客に自由に現物を触らせると、何十年後になったら、字や絵などがだんだん消えていくと思います。また、カンボジアに行って、カンボジアはベトナムよりも貧しい国だと分かりました。それで、今までベトナムのことしか考えていない私は、自分の母国がもちろんですが、国をかかわらず、貧困な人たちのために働きたいと思いました。

ホチミン市は前日本語を勉強するために半年ぐらい住んだことがあります。ですが、今度私の母校であるドンズー日本語学校に帰って、新しいキャンパスを見て、学校が発展していると分かり、うれしかったです。また、後輩の姿を見て、6年前に自分を思い出しました。これからもドンズーの先輩—後輩の連結の糸が絶対に切れなと思います。そして、その後輩たちがきっと私たち以上に頑張っていて、ベトナムを始めアジアに貢献できると思います。そして、恩師であるホエ先生の話を知ることができて、やる気と熱血の火があふれてきました。

皆さんがベトナムを楽しんで、料理を美味しく食べるのを見て、うれしかったです。ベトナムの社会にはいろいろな問題がまだ残っていますが、是非次回もベトナムを

TNI のツアーに入れてほしいです。

## 2. 国際交流

今回 3 カ国を渡り、6 カ国の学生たちと交流することができました。英語を少し自然に話すことができました。タイとカンボジアの文化を勉強することができました。そして、新しい友達ができ、人脈が広がりました。これから、縁が絶えないように皆と連絡を続け、将来にアジア全体が裕福になるように力を合わせたいと思います。

## 3. 勉強

今回 TPA と TNI に訪問して、刺激を受けました。訪問したお陰で、ホエ先生が私たちを日本に送った目的をより分かりました。私たちは自分の使命を感じました。そして、夢を実現する道をよりはっきりと見えました。今回の研修旅行は私にとって、貴重な経験で、心から感謝しております。

来年もしできれば続いて開催し、ドンズーのほかの学生さんを参加させてほしいです。ありがとうございました。